

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第4回 相模原市地域交通活性化協議会		
事務局 (担当課)		まちづくり計画部 交通政策課 電話042-769-8249(直通)		
開催日時		令和2年10月26日(月)~令和2年11月6日(金)		
出席者	委員	24名(別紙のとおり)		
	事務局	-		
公開の可否		可	不可	一部不可
		傍聴者数	-	
公開不可・一部不可の場合は、その理由		書面会議のため		
会議次第		<p>1 道路ネットワークの検討について</p> <p>2 バス路線の検討について (ターミナル、基幹・幹線バス路線)</p>		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は会長の発言、 は事務局の発言)

(協議を書面で行った理由)

新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐために、委員等が一堂に会する方法により会議を開催することが困難であったため、書面により協議会委員の意見を求め、回答を得ることにより会議の開催に代えることとした。

1 道路ネットワークの検討について(資料1)

主な意見は次のとおり。

○11ページの、分担モデルのネットワーク推計から、公共交通の利用促進を図るため、どういう点に留意すべきか、推計結果から考察してほしい。

公共交通の利用促進施策については、将来の道路交通量も見据えた上で、次回協議会以降で検討を進めていきたい。

○将来道路ネットワークの推計項目に、コロナ禍でネット通販が伸びているため、事業用自動車免許人口、物流車の指標を追加してほしい。

物流車については、過去の道路交通センサスの貨物車データを活用したいと考えている。また、コロナ禍における今後の物流の変化については、現時点では、確固たる推計データが存在しないことから、今後の国土交通省や東京都市圏交通計画協議会における検討などを踏まえながら、可能な限り検討したい。

○近隣市の道路整備状況も踏まえ、本市の幹線道路との関係性・有益性が高い道路や、橋本駅・相模原駅周辺の広域交流拠点形成の推進に資する道路等、優先度が高い路線から整備検討をお願いしたい。

行政境をまたぐ広域的な幹線道路や近隣市の都市計画道路等の整備状況をはじめ、橋本駅・相模原駅周辺における今後のまちづくりによる開発交通量等を踏まえた上で、将来交通量を推計し、道路ネットワークを検討する。

○リニア中央新幹線開業や小田急多摩線延伸、観光振興計画等の各種計画と道路ネットワークも整合を図ることが必要ではないか。

関連計画との整合については、7ページに記載のとおり、都市計画マスタープランや広域交流拠点の整備など、将来のまちづくりを踏まえた上で骨格となる道路ネットワークを検討したい。

2 バス路線の検討について(ターミナル、基幹・幹線バス路線)(資料2)

主な意見は次のとおり。

○ターミナルとサブターミナルをどのように使い分けるのか。

○現行計画と比較し、相模湖駅をターミナルからサブターミナルへ、藤野駅をサブターミナルから「設定なし」へ変更した理由と変更したことで想定される課題は。

ターミナルとサブターミナルの使い分けについては、例えばバス待ち環境整備等の個別施策を実施する際に利用者数の多いターミナルを優先するなど、施策の優先順位付けの一つの材料としたいと考えている。

また、現行計画と比較して相模湖駅と藤野駅の位置付けを変更している点については、相模湖駅、藤野駅ともに現状のバス路線の運行本数や輸送人員等から判断したもの。なお、今回のターミナル等の設定は運行水準の高い基幹・幹線バス路線の設定を見据えて検討しており、藤野駅は鉄道によりサブターミナルである相模湖駅にアクセス可能であり、基本的に、隣り合うターミナルへ鉄道により移動が可能な場所は、バスの乗り継ぎ拠点としてのターミナルの位置付けからは外している。

変更したことにより想定される課題は、個別施策の優先順位付けの中で、利用者の多いターミナルやサブターミナルが優先される可能性があるという点であるが、地域のバスの結節点であることは変わりなく、その他の箇所においても個別施策が活用できないといったケースは想定していない。

- 12ページの基幹・幹線バス路線の設定について、コロナの影響等で減便が発生し、基準に該当しなくなった場合の定義や入れ替えについての考えは。

基幹・幹線バス路線の設定は、現状の運行水準だけでなく、パーソントリップ調査等から判明した移動実態をもとに設定している。また、運行水準は目安として設定しているため、減便等によりただちに定義や位置づけについて変更することは想定していない。ただし、今後の移動実態等の変化により、実態と位置づけに乖離が生じるような状況であれば、計画の見直しを行う必要があると考えている。

- 基幹・幹線バス路線への連節バスの導入によって、余剰車両の活用による市域全体のバス交通ネットワークへの効果があると考えているが、連節バス導入についての考えは。

運転手不足等もある中で、持続可能な移動手段を確保するために連節バスを導入することは解決策の一つであると考えている。しかしながら、連節バスの導入には道路上の課題等もあるため、引き続きバス事業者等と連携し検討を進めたいと考えている。

- 相模大野駅周辺には行政機関が点在しており、現在検討が進められている新しい交通システムの導入についても、連節バスではなく、小回りの利くミニバスを運行させたほうがよいと考える。

新しい交通システム導入基本計画については、現在、見直しに向けた検討を進めているところである。相模大野駅は交通需要が高く、周辺に行政機関や大学、病院などの施設も多く立地されており、現在においても道路渋滞が発生していることから、引き続き、渋滞緩和をはじめ、路線バスの速達性や利便性向上の取組を検討する。

- リニア中央新幹線開業を契機として、インバウンドや県内外からの旅行客獲得のため、リニア新駅へのアクセスや在来線駅との乗り換え、大型バスターミナルの設置や自動車駐車場の確保など、リニア開業効果を高める交通ネットワークの構築について検討をお願いしたい。

訪日外国人旅行客等の増加も見据え、自動車や自転車等、多様な交通手段間の乗り換え利便性の向上やアクセス道路の整備等に取り組んでいきたいと考えている。金原をターミナルから外したことで、相模原 IC 周辺の産業基盤の整備等の事業を市は進めないといった印象を受けるが、将来計画との整合は考慮しなくてよいのか。

金原については、現在の運行本数や乗降者数などを踏まえターミナル設定をしていないが、今後のまちづくりの進捗に伴う都市機能の充足状況等を勘案し、適宜見直しを行いたい。

バスターミナル等の充実により、交通弱者や学生、高齢者の交通安全が図られると考えるため、整備をお願いしたい。

○市立麻溝公園、県立相模原公園は、市内外から多くの来園者がおり、公共交通の利便性が上がれば周辺駅の乗降者数の増加も見込まれると考えるが、バスターミナルの設置についての考えは。

バスの発着便数や乗降者数等に着目し、乗り継ぎの拠点となるバス停をターミナル等として設定しているが、計画策定後、まちづくりの進展による都市機能の集積や都市構造の変化によっては、適宜見直しの必要があると考えている。

本市は自転車利用率が高いため、交通事故防止の観点からも、バス路線の充実と、自転車通行環境の整備を並行して進めるべきと考える。

バス路線の維持確保及び自転車通行環境の整備については、計画内においても同時並行で進めていく形で検討している。

○今後、少子高齢化の進展により、バスの減便や路線見直しが行われることも想定されるが、「暮らしやすいまち」や「高齢者福祉」の観点からも、高齢者や障害者の方の外出機会の確保に繋がるよう、施策の検討をお願いしたい。

次期計画の基本理念案においても、「誰もが移動しやすく外出したくなる交通環境」を目指すべき姿としている。次回以降の協議会で、具体的な施策の検討を進めていきたい。

バス路線網や運行本数の見直しについては、事業者と運輸支局で決定できることではあるものの、市役所と随時情報共有し、定期的にネットワークと頻度を協議会等で確認することが必要で、かつそこでの議論で課題を共有することが重要と考える。

計画策定後の進行管理組織において、運行水準等については毎年度モニタリングをしていく考えであり、進行管理組織の形態やモニタリングすべき指標については、来年度の協議会にて検討していきたい。

以 上

第4回 相模原市地域交通活性化協議会 委員名簿

	所属・役職	氏名
1	横浜国立大学 副学長	中村 文彦
2	東洋大学 国際学部 国際地域学科 教授	岡村 敏之
3	一般社団法人 神奈川県バス協会 常務理事	小堤 健司
4	一般社団法人 神奈川県タクシー協会 相模支部 常任理事	大畠 雄作
5	東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社 総務部企画室 企画部長	山本 秀裕
6	東日本旅客鉄道株式会社 八王子支社 総務部経営企画室 経営企画部長	筑井 裕之
7	小田急電鉄株式会社 交通サービス事業本部 交通企画部長	小川 司
8	京王電鉄株式会社 鉄道事業本部 計画管理部長	加藤 慎司
9	神奈川中央交通株式会社 運輸計画部長	齋藤 謙司
10	京王電鉄バス株式会社 取締役運輸営業部長	福島 八束
11	富士急バス株式会社 業務部長	古谷 幸二
12	国土交通省 関東地方整備局 建政部 都市整備課長	大櫛 寛之
13	国土交通省 関東地方整備局 相武国道事務所長	佐藤 重孝
14	国土交通省 関東運輸局 神奈川運輸支局 首席運輸企画専門官（総務企画担当）	三橋 裕
15	神奈川県 警察本部 交通部交通規制課 都市交通対策室長	阿部 勇
16	相模原市自治会連合会 理事	志村 勝美

17	相模原商工会議所 事務局長兼中小企業振興部長	久保田 修
18	社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会 会長	戸塚 英明
19	一般社団法人 相模原市観光協会 専務理事	北村 美仁
20	公募市民	石月 光子
21	公募市民	櫻井 正友
22	公募市民	高橋 達見
23	相模原市 都市建設局 道路部長	小池 稔
24	相模原市 都市建設局 まちづくり計画部長	椎橋 薫